

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |     |            |     |
|----------------|-------------|-----|------------|-----|
| ○事業所名          | グローバル・アカデミー |     |            |     |
| ○保護者評価実施期間     | R8年1月6日     |     | ～ R8年1月31日 |     |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 32人 | (回答者数)     | 25人 |
| ○従業者評価実施期間     | R8年1月6日     |     | ～ R8年1月31日 |     |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 1人  | (回答者数)     | 1人  |
| ○訪問先施設評価実施期間   | R8年1月6日     |     | ～ R8年1月31日 |     |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象数)       | 6人  | (回答数)      | 6人  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年1月31日    |     |            |     |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|--|---|
| 1 | 専門性の高いアセスメントに基づく実践的な訪問支援の提供：訪問支援専門員等が、お子様一人ひとりの特性や集団生活での課題を多角的に分析し、根拠に基づいた支援を行っている。訪問先施設からも、具体的に日々の保育・教育に取り入れやすい助言であると高い評価を得ている。  | 訪問支援員による定期的な内部研修やケース検討会を実施し、アセスメント能力の向上と平準化を図っている。また、訪問時には園の先生方の負担に配慮しつつ、活動観察から得られた知見を即座に共有し、現場で即効性のあるフィードバックを意識している。    | 訪問支援員の専門性をさらに高めるため、外部の専門機関やスーパーバイザーによる研修への参加を促進し、より高度で多角的な支援技術の習得を目指す。また、お様の成長をより可視化できる評価指標を導入し、エビデンスに基づいた支援報告の質を向上させる。         |
| 2 | 訪問先施設および保護者との強固な三者連携体制の構築：園での様子を事業所での療育と連動させ、一貫性のあるサポートを行う協働体制を築いている。日々の連絡帳や送迎時の対話に加え、園の先生方とも密に情報共有を行うことで、共通の目標を持った多角的な支援を実践している。 | 事業所での療育内容と園生活をシームレスに繋ぐため、訪問報告書を具体的かつ簡潔に作成し、双方向の連携を強化している。定期的な面談を通じて保護者の意向を細やかに汲み取り、園の支援方針と齟齬が生じないように丁寧な調整役としての機能を重視している。 | 園との連携をさらに深化させるため、訪問時の対面報告に加え、オンライン会議等を活用した多職種連携の場を積極的に提案・設定する。また、家庭での子育てを支える家族支援プログラム(ペアトレ等)の内容を拡充し、園・家庭・事業所の三位一体のネットワークを強固にする。 |
| 3 | 心理的安全性を確保した迅速かつ丁寧な相談支援体制：保護者や園の先生方が困りごとを抱えた際、いつでも気軽に相談できる信頼関係と、迅速なフォローアップ体制を構築している。ICTの活用や報告書の工夫により、多忙な現場の負担を減らしつつ質の高い情報を共有している。  | 急な課題に対してもネットワーク軽く対応できるよう、訪問スケジュールの柔軟な運用を行っている。また、ICTツールを効果的に活用し、保護者や園が「いつでも相談できる」と感じられるようなレスポンスの速さと、共感的な対話姿勢を全職員で徹底している。 | 広報活動やSNS等を通じた情報共有を強化し、事業の趣旨や支援の成果をより広く公表することで、透明性の高い運営を推進する。また、緊急時対応や防犯・防災に関する訓練の実施状況をより詳細に周知し、保護者および訪問先施設がより一層の安心感を持てる環境を整備する。 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること   | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の実施と情報提供の不足：保護者から家族支援へのニーズが寄せられているが、現状は日々の相談対応が中心となっており、体系的なプログラムの開催や専門的な情報共有の機会を十分に創出できていない。          | 訪問支援の実施と事務作業に追われ、集団での家族支援プログラムを企画・運営するための時間的・体制的な余裕が不足していた。また、保護者の就労状況等に配慮した開催時期の設定や、オンライン等の多様な参加形態の検討が不十分であった。      | 次年度の年間計画に家族支援プログラムの開催を具体的に盛り込み、保護者のニーズに合わせた小規模な座談会やオンライン研修から段階的に実施する。また、外部のペアトレ教材等を活用し、家庭で実践しやすい具体的情報の提供体制を整える。        |
| 2 | 訪問先施設との直接的な対話およびフィードバック機会の不足：訪問先施設の多忙な状況もあり、支援員と園の先生が直接対面して協議する時間が限られている。「あまり会って話す機会がなかった」との声もあり、連携の質にばらつきが生じる懸念がある。           | 園側とのスケジュール調整において、保育の主導権を妨げないよう配慮するあまり、簡潔な書面報告に頼りすぎた。対面での深い振り返りを行うための仕組み(訪問時間外のオンライン会議等)の提案や、園の先生方が相談しやすい環境作りが不足していた。 | 対面での対話が困難な場合でも、ICTツールや動画を活用した視覚的なフィードバックを強化し、園での一貫した支援に繋げる。また、短時間でも定例的なカンファレンスが持てるよう、園の負担を最小限に抑えた柔軟なスケジュール提案を積極的に行う。   |
| 3 | 支援内容の可視化と外部への情報発信の不十分さ：日々の活動内容や評価結果が事業所内での共有に留まっており、ホームページやSNS等を活用したタイムリーな外部発信が追いついていない。特に新規検討者や地域住民に対し、事業の透明性を提示する工夫が求められている。 | 広報担当の配置や情報更新のフローが定型化されておらず、プライバシー保護に配慮した上での効果的な発信技術も不足していた。また、第三者評価の受審や公表結果の活用方法について、職員間での共通認識を深める機会が少なかった。          | 情報発信担当を明確化し、プライバシーに配慮した活動記録を定期的にホームページ等で公表する運用ルールを確立する。また、自己評価結果を運営改善に反映させるプロセスを保護者や地域にも分かりやすく公開し、より信頼され開かれた事業所運営を目指す。 |

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 グローバル・アカデミー

公表日 R8年 3月 31日

利用児童数 32 回収数 25

|  | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見  | ご意見を踏まえた対応  |
|--|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| 環境・<br>体制<br>整備                                  | 1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。  | 12 | 1             | 0   | 11    |  |   |
|  | 2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。   | 14 | 0             | 1   | 9     |  |   |
|  | 3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。   | 23 | 0             | 0   | 2     |  |   |
|  | 4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。   | 18 | 1             | 1   | 5     |  |   |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供                 | 5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。   | 20 | 1             | 0   | 4     | 軽度は軽度の困難さがあると思うが、自立たないため、もう少し専門的なマンパワーがあると、より豊かな支援につながるのでは？と思うことが多々ある。 | 訪問支援員（訪問支援専門員等）の専門性をさらに高め、多角的な視点からお子様一人ひとりに最適な支援を提供できるよう、継続的な研修と体制強化に努めます。    |
|  | 6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。  | 22 | 1             | 0   | 2     |  |   |
|  | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。                             | 24 | 0             | 0   | 1     |  |   |
|  | 8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。   | 21 | 0             | 0   | 4     | 園でのとりくみをグローバルでもとりこんで下している（園での活動がスムーズになるようにしてきている）                      | 園での具体的な活動や目標を事業所内でも共有し、訪問支援と日々の療育が密接に連動することで、お子様が園生活をより自信を持って送れるようサポートを徹底します。 |
|  | 9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。                      | 20 | 0             | 0   | 5     |  |   |
|  | 10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。   | 20 | 0             | 0   | 5     |  |   |
|  | 11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。  | 20 | 0             | 0   | 5     |  |   |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等             | 12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。  | 25 | 0             | 0   | 0     |  |   |
|  | 13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。  | 23 | 0             | 0   | 2     |  |   |
|  | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。                                | 12 | 0             | 3   | 9     | 行われているかもしれないが、存じ上げない。  | 家族支援プログラム（ペアトレ等）の実施について、次年度の計画に具体的に盛り込み、保護者様が活用しやすい形で情報提供や研修の機会を創出します。        |
|  | 15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。   | 24 | 0             | 1   | 0     |  |   |
|  | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。  | 25 | 0             | 0   | 0     | 定期的ではあるが機会が少ないように思う。   | 定期的な面談に加え、日々の送迎時や電話等での随時相談を大切に、保護者様がより気軽に、かつタイムリーに状況を把握・相談できる機会を増やしてまいります。    |
|  | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。  | 24 | 0             | 0   | 1     |  |   |
|  | 18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 20 | 1             | 0   | 4     |  |   |
|  | 19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。  | 25 | 0             | 0   | 0     |  |   |
| 20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。 | 21  | 1  | 0             | 3   |       |  |   |

|         |    |   |    |   |   |   |   |   |
|---------|----|---|----|---|---|---|---|---|
|         | 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。                   | 20 | 0 | 0 | 5 |   |   |
|         | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。                            | 22 | 1 | 0 | 2 | 保育所での様子を知る機会にもなり、とてもありがたいです。                                | 保育所等での様子を共有することで安心感を持っていただけるよう、訪問報告の質をさらに高め、連絡帳や面談等を通じてきめ細かなフィードバックを継続します。    |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 18 | 1 | 1 | 5 | 存じ上げない。   | 活動内容や自己評価の結果をより分かりやすくお伝えできるよう、ホームページやSNS、お便り等の媒体を効果的に活用し、情報の可視化と発信の強化に努めます。   |
|         | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。  | 22 | 0 | 0 | 3 |   |   |
|         | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。                         | 21 | 0 | 0 | 4 |   |   |
| 満足度     | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。      | 24 | 0 | 0 | 1 |   |   |
|         | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。   | 21 | 1 | 0 | 3 | すべてたのしそうに利用している。わがまま等に伸び伸び対応して下さります。足りませんが、本人ののびしろだと思っています。 | お子様が安心して自分らしく過ごせることを嬉しく思います。今後も本人の意欲と個性を大切にしながら、楽しみながら成長できる環境と関わりを維持していきます。   |
|         | 28 | 事業所の支援に満足していますか。  | 23 | 1 | 0 | 1 | 保育所への訪問支援にも、とても感謝しています。ありがとうございます。                          | 訪問支援へのご理解と感謝のお言葉をいただきありがとうございます。今後も園と家庭、事業所の三者が緊密に連携し、お子様の最善の利益を目指した支援を継続します。 |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R8年 3月 31日

グローバル・アカデミー

利用児童数

R8年 1月 31日

回収数 6

|  | チェック項目                                  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | ご意見  | ご意見を踏まえた対応   |
|--|---|----|---------------|-----|--|--|
| 1  | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 4  | 1             | 1   | グローバルさんでの様子を聞くと分かりやすく教えて頂いています。子どもの様子がわかって助かっています。とても分かりやすいです。子どもの様子がわかって助かっています。  | 事業所での様子を共有することで園での一貫した支援に繋がっていることを嬉しく思います。今後も成長を可視化した分かりやすい報告を継続し、情報の共有精度を高めてまいります。  |
| 2  | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。            | 3  | 3             |     |  |  |
| 3  | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。           | 5  | 1             |     | 困っている時にいつも相談できる関係で助かっています。プログラム等、いつも丁寧にやっておられます。とても分かりやすく満足しています。助言等も丁寧に頂けます。困っている時にいつも相談できる関係で助かっています。                        | 困りごとの相談に対し、迅速かつ丁寧に応えられる関係性を今後も大切にします。先生方と密なコミュニケーションを回り、プログラムの意図や助言内容をより深く共有してまいります。 |
| 4  | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 3  | 3             |     | 4月に比べると、数ヶ月で留も増えてきたように思います。様々な活動を取り入れていて、楽しく通えているようです。少しずつですが成長が感じられる所があり、うれしいです。あまり会って話す機会がなかったので、少しずつですが成長が感じられる所があり、うれしいです。 | 「直接対話する機会」が不足していた点は真摯に受け止め、訪問時間の調整やICT活用、簡潔な書面報告の工夫等により、負担にならない形での情報共有を強化してまいります。    |
| 5  | 事業所からの支援に満足していますか。                      | 5  | 1             |     | 本人がとても楽しく通っているので満足しています。   | 「楽しく通えている」との声を励みに、情緒の安定と意欲を引き出す支援を継続します。現場で活用しやすい具体的な声掛けや援助の手法についても、定期的にお伝えしていきます。   |
| その他のご意見  |   |    |               |     | ご意見を踏まえた対応   |  |
| 様々な園外活動や楽しい活動をされていて、すごいなと思います。また園やグローバルさんでの様子を共有しながらできたらいいなと思います。よろしく願います。いつもありがとうございます。「今日は〇〇したよ!」と、グローバルでのことを嬉しそうに話してくれます。グローバルではどんなことをしているのか詳しくおしえていただきたいです。また、グローバルさんでは、どのように、声かけ、援助をしているのかなど、話せる機会があれば嬉しいです!! |   |    |               |     |  |  |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名                                 |  | グローバル・アカデミー   |    | 公表日 |                               | R8年 3月 31日 |  |
|--------------------------------------|--|---|----|-----|-------------------------------|------------|--|
|                                      |  | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと<br>思われる点など | 課題や改善すべき点  |  |
| 環境<br>制<br>運<br>備<br>營               | 1  | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。  | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 2  | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 1  |     |                               |            |  |
| 業<br>務<br>改<br>善                     | 3  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、<br>広く職員が参画しているか。  | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 4  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて<br>おり、その内容を業務改善につなげているか。                                    | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 5  | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善<br>につなげているか。   | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 6  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている<br>か。  | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 7  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で<br>研修を開催する機会が確保されているか。                                       | 1  |     |                               |            |  |
| 適<br>切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供 | 8  | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者<br>のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を<br>作成しているか。                | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 9  | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者<br>だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども<br>の最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 10   | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と<br>連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。                                | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 11   | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行<br>われているか。   | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 12   | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー<br>マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな<br>アセスメントを使用する等により確認しているか。 | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 13   | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保<br>育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容<br>が設定されているか。              | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 14   | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行<br>われているか。   | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 15   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の<br>内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい<br>るか。                     | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 16   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援<br>の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                  | 1  |     |                               |            |  |
|                                      | 17   | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し<br>て支援を行っているか。   | 1  |     |                               |            |  |
| 18                                   | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善<br>に繋げているか。 | 1   |    |     |                               |            |  |

|              |    |  |   |  |  |  |
|--------------|----|--|---|--|--|--|
|              | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                          | 1 |  |  |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                   | 1 |  |  |  |
|              | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                 | 1 |  |  |  |
|              | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                     | 1 |  |  |  |
|              | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。  | 1 |  |  |  |
|              | 24 | (自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。   | 1 |  |  |  |
|              | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   | 1 |  |  |  |
|              | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 1 |  |  |  |
| 保護者等への説明等    | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 1 |  |  |  |
|              | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。   | 1 |  |  |  |
|              | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。           | 1 |  |  |  |
|              | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。                                     | 1 |  |  |  |
|              | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。  | 1 |  |  |  |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1 |  |  |  |
|              | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 1 |  |  |  |
|              | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                        | 1 |  |  |  |
|              | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 1 |  |  |  |
|              | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 1 |  |  |  |
| 訪問先施設への      | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。   | 1 |  |  |  |
|              | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。  | 1 |  |  |  |
|              | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。  | 1 |  |  |  |

|         |    |   |   |  |  |  |
|---------|----|---|---|--|--|--|
| 説明等     | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。   | 1 |  |  |  |
|         | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。                                      | 1 |  |  |  |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 1 |  |  |  |
|         | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 1 |  |  |  |
|         | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。   | 1 |  |  |  |
|         | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。  | 1 |  |  |  |
|         | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。    | 1 |  |  |  |